議案第十一号

港区介護保険条例の一部を改正する条例

右の議案を提出する。

平成三十年二月十四日

提出者 港区長 武井雅昭

港区介護保険条例の一部を改正する条例

港区介護保険条例（平成十二年港区条例第二十九号）の一部を次のように改正する。

第七条第一項中「平成二十七年度から平成二十九年度まで」を「平成三十年から平成三十二年まで」に改め、同項第六号イ中「。」の下に「（租税特別措置法（昭和三十二年法律第二十六号）第三十三条の四第一項若しくは第二項、第三十四条第一項、第三十四条の二第一項、第三十四条の三第一項、第三十五条第一項、第三十五条の二第一項又は第三十六条の規定の適用がある場合には、当該合計所得金額から令第三十八条第四項に規定する特別控除額を控除して得た額とする。以下この項において同じ。）」を加え、同号ロ、同項第七号ロ、同項第八号ロ、同項第九号ロ及び同項第十号ロ中「又は第十四号ロ」を「、第十四号ロ、第十五号ロ又は第十六号ロ」に改め、同項第十一号中「十四万二千三百八十六円」を「十四万六千三百三十

三円」に改め、同号口中「又は第十四号口」を「、第十四号口、第十五号口又は第十六号口」に改め、同項第十二号中「十七万二千三百六十二円」を「十七万九千八百五十六円」に改め、同号口中「又は第十四号口」を「、第十四号口、第十五号口又は第十六号口」に改め、同項第十三号中「二十万六千八十五円」を「二十一万七千三百二十六円」に改め、同号イ中「二千万円」を「千五百万円」に改め、同号口中「又は次号口」を「、次号口、第十五号口又は第十六号口」に改め、同項第十四号中「二十三万九千八百八円」を「二十五万四千七百九十六円」に改め、同号イ中「二千万円以上三千万円未満」を「千五百万円以上二千万円未満」に改め、同号口中「。）」に「を「。）」、次号口又は第十六号口に「に改め、同項第十五号中「二十七万三千五百三十一円」を「三十八万二千百九十四円」に改め、同号を同項第十七号とし、同項第十四号の次に次の二号を加える。

十五 次のいずれかに該当する者 二十九万六千十三円
イ 合計所得金額が二千万円以上三千万円未満であり、かつ、前各号のいずれにも該当しない者

ロ 要保護者であつて、その者が課される保険料額についてこの号の区分による額を適用されたならば保護を必要としない状態となるもの（令第三十九条第一項第一号イ（1）に係る部分を除く。）又は次号口に該当する者を除く。）

十六 次のいずれかに該当する者 三十三万七千二百三十円

イ 合計所得金額が三千万円以上五千万円未満であり、かつ、前各号のいずれにも該当しない者

ロ 要保護者であつて、その者が課される保険料額についてこの号の区分による額を適用されたならば保護を必要としない状態となるもの（令第三十九条第一項第一号イ（1）に係る部分を除く。）に該当する者を除く。）

第七条第二項中「平成二十七年度から平成二十九年度まで」を「平成三十年から平成三十二年まで」に改める。

第九条第三項中「若しくは第十四号ロ」を「第十四号ロ、第十五号ロ若しくは第十六号ロ」に、「第十四号まで」を「第十六号まで」に改める。

第二十一条中「第一号被保険者」を「被保険者」に改め、「世帯主」の下に「その他その世帯に属する者」を加える。

付則第六条中「（昭和三十二年法律第二十六号）」を削る。

付 則

（施行期日）

1 この条例は、平成三十年四月一日から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の港区介護保険条例（以下「新条例」という。）の規定（第二十一

条の規定を除く。）は、平成三十年度分の保険料から適用し、平成二十九年度分までの保険料については、なお従前の例による。

3 新条例第二十一条の規定は、この条例の施行の日以後の行為から適用し、同日前の行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

（説明）

第七期港区介護保険事業計画に基づき保険料を改定するほか、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律（平成二十九年法律第五十二号）の施行による介護保険法（平成九年法律第二百二十三号）の一部改正に伴い、規定を整備する必要があるため、本案を提出いたします。